



災害発生時の体制を確認するため 「令和6年度第1回関係部局長等会議」を開催しました



2024年4月25日
郡山市総務部
防災危機管理課
課長 熊田 重美
TEL：924-2168

SDGs ターゲット 13.1 「すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱化（レジリエンス）及びその適応の能力を強化する。」

今年度の台風接近時等の事前業務体制の確認や情報の共有を図るため、次のとおり令和6年度第1回関係部局長等会議を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 開催日時 4月25日（木）午後1時30分から午後2時10分まで
- 2 開催場所 郡山市役所本庁舎1階 災害対策室
- 3 参加者 村上副市長、総務部長、総務部理事、保健福祉部長、農林部長、建設部長、都市構想部次長兼公園緑地課長、上下水道局長
- 4 会議内容 別紙のとおり



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま

【会議内容】

○令和6年度の気象予測について（斎藤恭紀郡山市気象防災アドバイザーからの情報を共有）

- ・海面水温の関係で昨年に比べ台風が多くなることが予想され、昨年より災害発生リスクが高まる。
- ・エルニーニョからラニーニャ現象に移行し、6月7月は梅雨前線の活動に注意が必要
- ・7月8月は高気圧が強まり、今年はウルトラ猛暑になるリスクが高い。また、高気圧の活動が2週間程度の周期で変動し、それが弱まったタイミングで積乱雲が発達することが予想される。

○令和6年度における台風接近時の事前業務体制の確認について

＜総務部＞

台風接近時には早期開設避難所として13か所を想定し、状況に応じて早期に開設できるよう体制づくりをしていく。

＜保健福祉部＞

開設される避難所に合わせ、そこに配置する職員配置を想定しており、早期に対応できる体制とする。

＜農林部＞

台風接近時には市街地もあり農業用ため池8か所の低水管理を進める。

＜建設部＞

各樋管については、本年3月27日に状況を確認済みであり、土のう等の備蓄品についても本年3月29日に確認済みである。

また、災害協定協力会社と連携し、台風接近時には樋管及び土のう等を確認し、災害対応に当たる。

＜都市構想部＞

Park-PFIにより管理する事業者にも申し伝えており、台風接近時には五十鈴湖の水位を10cm下げて管理する。これにより、2,600tを貯留できるみこみである。

＜上下水道局＞

市内7か所の雨水ポンプ施設について隔週で定期点検を実施するとともに、うち6か所については、台風接近直前に試運転を実施予定である。

＜村上副市長＞

年度が変わり、職員の異動もあるが災害対策としてやるべきことは変わらないため、各部局の体制を確認するためこの会議を開催している。

地域防災計画に記載しているとおり対応する職員の心構えが大変重要である。

災害時の職員参集体制を改めて整えておくようにするとともに、各管理施設の復旧に関する優先順位を改めて確認しておくようにしてほしい。

また、今年に入ってから、震度5以上の地震が多数発生している。複数の災害が同時に発生した場合の備えも重要である。

○その他

- ・福島県調査による地震被害想定調査の概要について
- ・郡山市防災備蓄計画の概要について
- ・各所属における災害発生時のBCP及び地域防災計画の事前確認について